葉山町

# 土砂災害ハザードマップ

この土砂災害ハザードマップは、土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）が発生するおそれがある危険な区域を確認していただくだけでなく、安全に避難する方法などを確認していただくことを目的として作成しています。土砂災害ハザードマップを使用して、避難場所や避難経路、危険な箇所を確認し、安全で確実な避難ができるように活用してください。

発行 葉山町　総務部 防災安全課　TEL：046-876-1111（代表）
〒240-0192 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135　http://www.town.hayama.lg.jp/

不許複製

令和3年9月作成

## ハザードマップの使い方

**1 自宅を見つけましょう**

自宅が土砂災害警戒区域等に入っていないか確認しましょう。

**2 避難する場所を確認しましょう**

土砂災害からの避難方法を確認しましょう。立ち退き避難が必要な場合を想定して、適切な避難先を確認し、大きく印をつけるなどして災害時に備えましょう。

**3 安全な避難経路を決めましょう**

災害時には通れなくなってしまう道もあるので避難経路を複数決めましょう。

**4 実際に避難経路を歩いてみましょう**

家族やご近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所がある場合は、避難経路を見直しましょう。

**アプリ（Avenza Maps）を使ってスマホやタブレットで閲覧できます！**

AvenzaMaps は世界中のフリーマップがダウンロードできるアプリです。この防災マップは AvenzaMaps を使うことで常に持ち歩くことが可能です。
外出時に被災した時など、オフラインで厳密りの避難場所等が探せるので、非常時の備えに携帯することをお勧めします。
アプリは AvenzaMaps で検索するか、右記の二次元コードからダウンロード可能です。
地図はアプリ内の地図の追加から、右記の二次元コードを読み取るか、ストアから「葉山町」と検索することでダウンロード可能です。

アプリのダウンロードは

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

地図のダウンロードは

## 避難情報

町は、雨や土砂災害の情報（**警戒レベル相当情報**）のほか、地域の状況などを踏まえて総合的に判断し、**避難情報**を発令します。町が発令する**避難情報**は、**警戒レベル相当情報**と必ずしも一致しません。

| 避難情報等（警戒レベル） | | | 雨や土砂災害の情報（警戒レベル相当情報） | |
|---|---|---|---|---|
| 警戒レベル | 避難情報等 | 皆さんがとるべき行動 | 警戒レベル相当 | 雨や土砂災害の情報 |
| 5 | 緊急安全確保（葉山町が発令） | 命の危険　直ちに安全確保！ 災害が発生またはひっ迫している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。※ | 5 相当 | 大雨特別警報（土砂災害） |
| | 警戒レベル４までに危険な場所から必ず避難！ | | | |
| 4 | 避難指示（葉山町が発令） | 危険な場所から全員避難 災害が発生するおそれが高い状況です。対象地域の方は全員速やかに避難してください。 | 4 相当 | 土砂災害警戒情報 |
| 3 | 高齢者等避難（葉山町が発令） | 危険な場所から高齢者等は避難 災害が発生するおそれがある状況です。避難に時間のかかる高齢者や障がい者、避難支援者などは避難してください。 | 3 相当 | 大雨警報（土砂災害） |
| 2 | 大雨注意報 洪水注意報（気象庁が発表） | 自らの避難行動を確認 気象状況が悪化している状況です。ハザードマップ等で避難場所や経路などを再確認しましょう。 | | |
| 1 | 早期注意情報（気象庁が発表） | 災害への心構えを高める 今後の気象状況が悪化のおそれがある状況です。防災気象情報等の最新情報に注意しましょう。 | | |

これらの情報は、気象庁（横浜地方気象台）や神奈川県から発表されます。揺れんが自主的に避難行動をとるために参考となる情報です。

※安全確保行動　外に避難することでかえって命に危険がおよぶような状況では、建物内のより安全な場所に移動する。（屋内安全確保）

**●土砂災害警戒情報**
大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険をおよぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となった時に、神奈川県と横浜地方気象台が共同で発表します。土砂災害警戒情報が発表されると神奈川県から自主的で速やかな避難等の防災活動を促すため、緊急速報メール（エリアメール）が配信されます。

## 家のマイ・タイムライン

あらかじめとるべき行動を決めておくと、いざというときのとっさの避難行動に役立ちます。自分の行動予定表「マイ・タイムライン」を作っておきましょう。

| 警戒レベル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|
| 警戒レベルごとにその時自分が何をすべきか考えて記入しましょう | | | | | |
| 記入例 | ●災害への心構えを高める<br>●気象情報の確認<br>●自宅の風雨対策<br>・土のう袋の作成<br>・板などによる浸水対策<br>・側溝、排水溝の清掃 | ●テレビ、ラジオ、インターネット等による気象情報や計画運休等の確認<br>●避難に備え、ハザードマップで自分や家族の避難行動の確認<br>●避難に備え、親戚や知人宅などの連絡先の確認や町の避難所の確認<br>●自宅裏山の前兆現象の確認 | ●高齢者や障害のある方など○○へ避難開始<br>●近隣の高齢者や障害のある方など避難に時間がかかる方への声かけ<br>●テレビ、ラジオ、インターネット等による気象情報の確認<br>●町のホームページ、防災情報メール、防災行政無線放送の確認<br>●食や食料、衣類、薬やミルク等の非常持出品の確認、ペットのフードなどを準備 | ●立ち退き避難○○へ避難開始<br>●3時への避難が危険な場合は自宅２階へ避難 | ●命を守る行動をとる<br>・1階から２階へ移動<br>・がけの反対側の部屋に移動 |

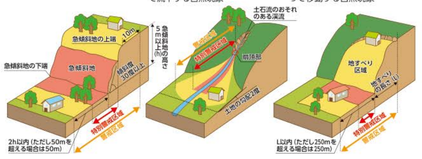
## 土砂災害警戒区域とは？

神奈川県が土砂災害防止法に基づき、土砂災害への注意が必要な区域として土砂災害警戒区域を指定しています。土砂災害警戒区域は、傾斜地の形態に着目し一律に指定されるものです。**区域に指定されることが直接土砂災害の危険性を示しているということではありません。**

**がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）**
傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象

**土石流**
山腹が崩壊して生じた土石等または渓流の土石等が水と一体となって流下する自然現象

**地すべり**
土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象またはこれに伴って移動する自然現象




**土砂災害警戒区域**
土砂災害のおそれがある区域（イエローゾーン）

**土砂災害特別警戒区域**
土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域（レッドゾーン）

- **警戒避難体制の整備**：災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られる［葉山町］
- **建築物の構造規制**：建築物の構造が安全であるかどうか建築確認がされる［神奈川県または民間の指定確認検査機関］
- **特定の開発行為に対する許可制**：住宅宅地分譲や要配慮者利用施設の建築のための開発行為は、基準に従ったものに限り許可される［神奈川県］
- **建築物の移転**：著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者に対し、移転等の勧告が図られる［神奈川県］

**宅地建物取引における措置**
警戒区域では、宅地建物取引業者は、当該宅地または建物の売買等にあたり、警戒区域内である旨について重要事項説明を行うことが義務付けられています。

区域の指定に関してのお問い合わせ
**神奈川県横須賀土木事務所**
**TEL 046-853-8800**

## 土砂災害の前兆現象

### 土砂災害の危険性

土砂災害は一瞬のうちに多くの人命や財産を奪う恐ろしい災害です。傾斜が急な山の多い日本は、台風、大雨、地震などにより土砂災害が発生しやすいところです。
土砂災害はいつどこで発生するかわかりません。そのため、土砂災害から命を守るには、危険な場所を避け、早めに避難することが大切です。
多くの土砂災害は、地中にたくさんの雨が貯まったところに非常に激しい雨や猛烈な雨が降ると発生する危険があります。
土砂災害には、斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる「がけ崩れ」、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する「地すべり」、山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨によって一気に下流へと押し流される「土石流」があります。

### 土砂災害の前兆現象

土砂災害が発生する前には、様々な前兆現象が起こる時があります。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも伝え、すぐに避難をすることが大切です。

## 避難の心得

### 1 自らの命は自らで守る

適切な避難行動や避難のタイミングは、各人がおかれた状況によりそれぞれ異なります。異変や身の危険を感じた場合は、町からの避難指示などの避難情報を待たず、自主的に避難を開始してください。

### 2 非常持出品を準備する

緊急に立ち退き避難をしなければならない場合に備え、避難時に持ち出す最低限のものはリュックなどに入れて、すぐに持ち出すことができる場所に用意しておきましょう。

例）
- □食料・水（火や水を使わずに食べられるもの、乳幼児がいる方は液体ミルクなど）
- □衣類（下着、タオル、雨具等）
- □懐中電灯（LED推奨）
- □医薬品（常備薬、絆創膏等）
- □衛生用品（歯ブラシ、簡易トイレ、生理用品等）
- □感染症対策用品（マスク、体温計、消毒液等）

そのほか、家族の状況に応じて必要なものを備えましょう。

### 3 避難先を複数確保する

避難先は町指定の避難所以外にも、安全な地域にお住まいの親戚や友人宅、ホテルなども考えられます。いざという時に備え、複数の避難先を確保しておきましょう。

### 4 地域で助け合う

地域には、高齢者や障害のある方など自らの力で避難することが困難で手助けを必要としている方がいます。日頃から気にかけて、避難の際はみんなで助け合いましょう。

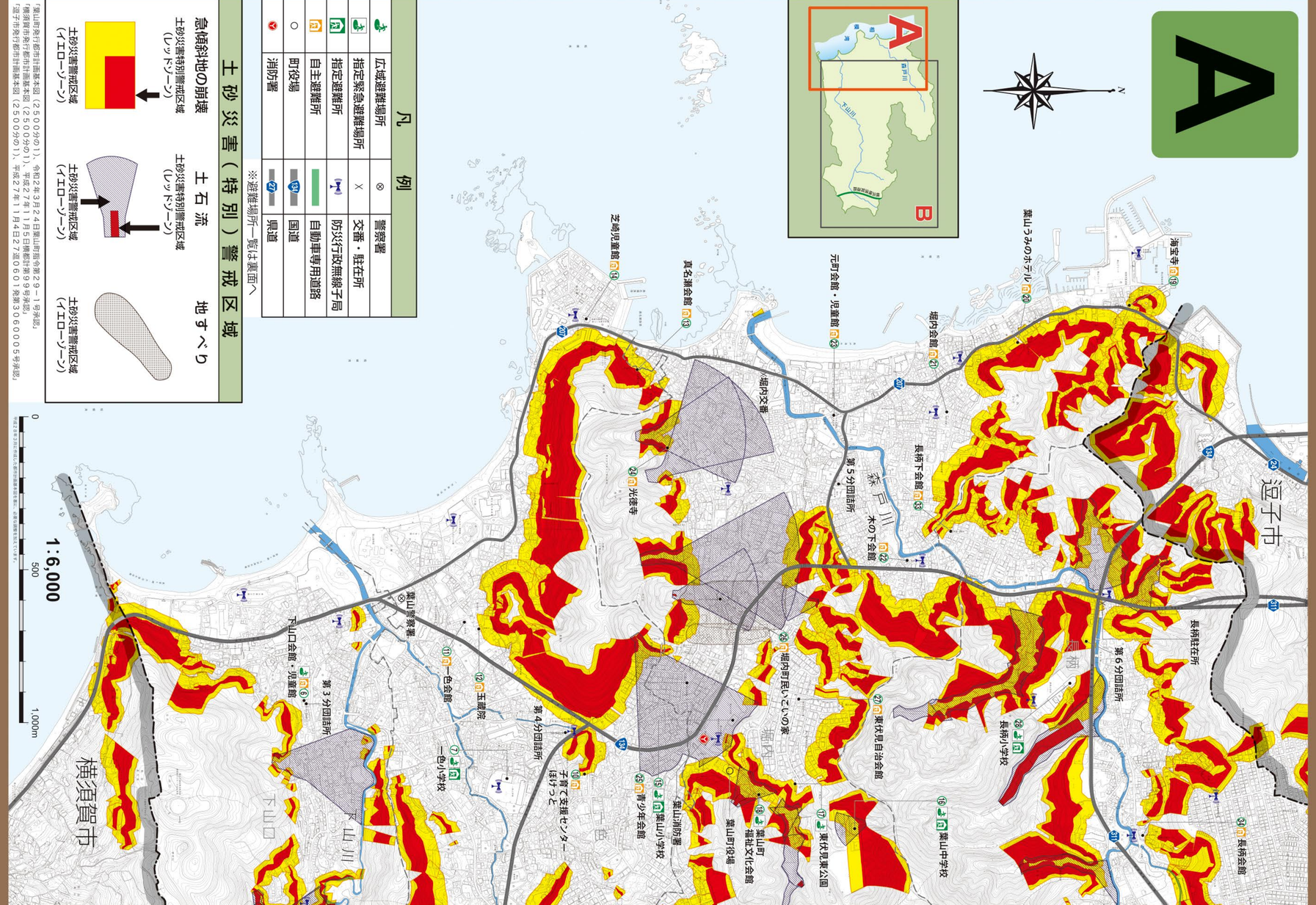
## 災害時に役立つ情報

### 情報の入手先

### 雨の強さ・風の強さ

気象情報では、雨や風の強さをお知らせすることがあります。実際にどのくらいの強さなのか、知っておきましょう。雨は５つ、風は４つに分けられています。

| | やや強い雨 | 強い雨 | 激しい雨 | 非常に激しい雨 | 猛烈な雨 |
|---|---|---|---|---|---|
| 雨の強さ | 10mm～20mm | 20mm～30mm | 30mm～50mm | 50mm～80mm | 80mm以上 |
| | 雨が地面ではね返り、足元がぬれる。 | 傘をさしていても、全身がぬれる。 | バケツをひっくりかえしたような雨。建ていても雨の音に気づくことも。 | ブンブン一面の水しぶきに覆う。恐い土地では、道路が川のようになる。 | 圧迫感があり、恐いと感じる。ほとんどの人が恐怖を感じるようになる。 |
| 風の強さ | やや強い風 | 強い風 | 非常に強い風 | 猛烈な風 | |
| 10分間平均の風速の予想を基にした階級 | 10～15m/秒の風 | 15～20m/秒の風 | 20～30m/秒の風 | 30m/秒より強い風 | |
| | 傘がさせなくなる。 | 風にむかって歩けなくなる。 | 何かにつかまらないと立てなくなる。 | 建物が壊れたりする。 | |




「葉山町都市計画基本図（２５００分の１）、令和２年３月２４日葉山町指令第２９－１号承認」
「横須賀市都市計画基本図（２５００分の１）、平成２７年１１月５日横都計第９９号承認」
「逗子市都市計画基本図（２５００分の１）、平成２７年１１月４日２７逗０６０１発第３０６０００５号承認」